

～保護者のみなさまへ～

3月 保健だより

令和5年
3月7日

立川市立
第六小学校

保健室

吉原養護教諭が病休に入り、ご心配をおかけしております。お子様のけがや体調不良等については、教職員全員で支援にあたっております。ご心配なことやご相談があればどうぞ遠慮なくお知らせください。休業前に作成した保健だよりをお届けいたします。お子様の健康管理にお役立てください。

(校長 田野倉宏美)

3月の保健目標

体の成長を たしかめよう

早いもので、今年度も終了が近付いてきました。今年度の卒業生とは、1年生の時から第六小学校で一緒に過ごしました。子どもたちが心も体も大きくたくましく成長していく様子を見て、私自身もたくさん勉強させていただきました。卒業生の保護者の皆様、おめでとうございます。

今月の保健目標は「体の成長をたしかめよう」です。子どもの成長は、個人差が大きいです。個人個人で成長を確かめること

で、病気の早期発見につながることもあります。成長曲線等を活用して、お子さんの成長について確認すると良いと思います。

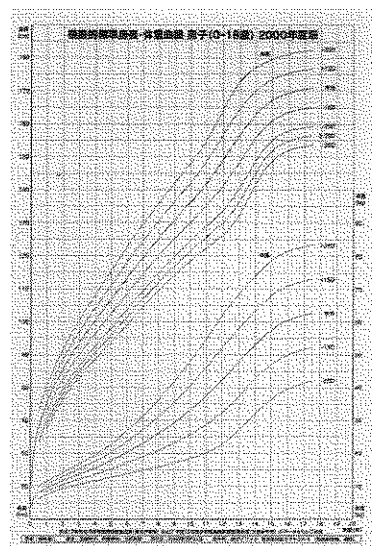
成長曲線を活用しましょう

成長曲線は、ある時点での子どもたちの身長・体重を各年齢ごと集計し、その平均をグラフにしたものです。

まず、横軸の年齢を探します。次に縦軸のその年齢の時の身長・体重を探し、縦軸と横軸が交わる点に印をつけます。つけた印を線で結んだものが成長曲線です。

身長が同性同年齢の子どもの平均値の2倍以上低い場合(-2SD以下)または高い場合(+2SD以上)は、必要に応じて専門医の受診を考えても良いかもしれません。

インターネットで「成長曲線」と検索すると、厚生労働省が示している成長曲線のデータが出てきますので、ぜひお子さんの成長を確かめてみてください。

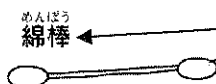


男子の成長曲線の例

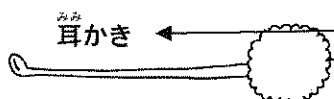
3月3日は耳の日

耳そうじをするときは

かわいた耳あかは耳かきで取り、しめった耳あかは綿棒でぬぐうとよいでしょう。耳あかは耳の穴の入り口1cmくらいにたまるので、耳そうじもそのあたりだけにしましょう。



しめった耳あかがと取れるときに使用

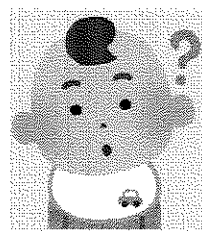


かわいた耳あかがと取れるときに使用



性について考える 第6回 女の子？男の子？

1月の始業式に、私のお腹に赤ちゃんがいることを子どもたちに伝えました。自然に、「女の子？男の子？」と聞かれることが多くなりました。私は、「生まれてくるときは女の子の予定だよ」と伝えています。大体の子は「そうなんだ～」と気が付かないのですが、何人かは、「生まれてくるときはってどういうこと？」と聞いてくれます。そんな時は、チャンス！と思って、性の多様性の話に広げていきます。



「生まれてくるときは体の性別は女の子だけれど、そのあとどのような性別を選ぶかは、赤ちゃんが決めるんだよ」と話をする、と「体の性別と違っているの？」とか、「確かに私も男の子っぽくしたいときもある！」など、子どもたちからいろいろな答えがありました。大人にも同じように返事をしましたが、ほとんどの人が「えっ…」という顔をしたあとに考え込む。又は、苦笑いという反応でした。「一人目は女の子の方が…」とか、「男の子の方が元気でいいわよ」などの意見も大人ならではの感じます。私自身も初めての妊娠で出産前からこんなに「男女」について考える場面があると思いませんでした。やはり大人になるほど「男女」という固定概念にとらわれやすいのかもしれないと感じています。

このように、日常的に性の多様性について話ができる場を大人が作ると、子どもたちは性の多様性について自分の意見を深めたり、自分自身のことについて考えたりできると思います。日常には「男女」の区別がある場面がたくさんあります。そんな時は「チャンス！」と思って、お子さんと性の多様性について話をするのはいかがでしょうか。

10月からこのコーナーが始まり、今回が最終回となりました。「性について考える」としたこのコーナーでは、子どもの心と体の性の発達について、性の多様性について考えてきました。少しでも皆様の考えるきっかけになっていれば幸いです。ありがとうございました。

参考: Diveinnon(ダイブ・ノン)代表 飯田亮瑠先生 講演会資料